

社会福祉充実残額算定シート

1. 「活用可能な財産の算定」

項目	金額
資産 (a)	665,169,024
負債 (b)	648,561,914
基本金 (c)	124,051,930
国庫補助金等特別積立金 (d)	166,122,161
合計 (a - b - c - d)	-273,566,981

- 黄色セル: 手入力 (必須入力) するセルです (※「社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム」搭載版では、他シートを参照するための計算式が設定されていますので、手入力は不要となります。)
- 青セル: 計算式が設定されており、入力することはできません。
- 白セル: 手入力するセルです。(不明の場合は、記載要領に従って入力してください)
- オレンジセル: 合計額を算出するための計算式が設定されており、入力することはできません。

2. 「社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等」

(1) 財産目録における貸借対照表価額

合計 (a)	620,439,378
--------	-------------

(2) 対応負債

項目	金額
1年以内返済予定設備資金借入金	5,600,000
1年以内返済予定リース債務	0
設備資金借入金	55,206,000
リース債務	0
合計 (b)	60,806,000

(3) 合計

項目	金額
財産目録合計 (a)	620,439,378
対応負債合計 (b)	60,806,000
対応基本金 (c)	124,051,930
国庫補助金等特別積立金 (d)	166,122,161
合計 (a - b - c - d)	269,459,287

3. 「再取得に必要な財産」

(1) 将来の建替費用

財産の名称等	取得年度	建設時延べ床面積 (少数点以下第4位を四捨五入)	建設時自己資金	大規模修繕実績額	減価償却累計額	建設単価等上昇率				自己資金比率				合計額	
						①建設工事費 デフレーター	②1m当たり単価上昇率			③一般の自己 資金比率	④建設時自己資金比率		③、④のいずれか 高い方の率		
							一般的1m当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の 取得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)		a/ (b/c)	建設時自己資金 (d)			d/b
建物	2015		20,189,308		176,652,936	1.057	250,000	782,189,308	-	1.057	22%	20,189,308	2.6%	22.0%	41,078,873
						-	250,000	-	-	-	22%	-	-	22.0%	-
						-	250,000	-	-	-	22%	-	-	22.0%	-
						-	250,000	-	-	-	22%	-	-	22.0%	-
合計							250,000				22%			22.0%	41,078,873

※ 割合は小数点第4位四捨五入。
 ※ 行が不足する場合は適宜追加すること。

(3) 設備・車輛等の更新に必要な費用

合計	55,002,458
----	------------

(4) 合計

項目	金額
将来の建替費用	41,078,873
大規模修繕に必要な費用	41,506,124
設備・車輛等の更新に必要な費用	55,002,458
合計	137,587,455

(2) 大規模修繕に必要な費用

減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)	大規模修繕実績額	合計額①	※大規模修繕額が不明な場合		合計額 (①、②のいずれか)
				貸借対照表価額 (c)	合計額② ((a×b) × c / (a+c))	
176,652,936	30%	-	-	638,149,223	41,506,124	41,506,124
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
-	30%	-	-	-	-	-
合計						41,506,124

4. 「必要な運転資金」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	200,525,448	12	3 50,131,362

5. 「計算の特例」

項目	金額	月数	合計額
年間事業活動支出	200,525,448	12	12 200,525,448

6. 「社会福祉充実残額」

項目	金額	控除対象財産計
活用可能な財産	(273,566,981)	469,984,735
社会福祉法に基づく事業に活用している不動産等	269,459,287	
再取得に必要な財産		
必要な運転資金		
計算の特例	200,525,448	
合計	(743,550,000)	